



神奈川県

横浜市立黒須田小学校

1年

浅井 葵さん

作品の解説文

ちきゅうをまもるために、にんげんができることは「ちいさくなること」かもしれません。もしわたしたちがちいさくなれば、しぜんのめぐみともっとちかくでつながり、こんちゅうたちとともにくらすみらいをえらぶことができます。わたしのえがくみらいのキッチンには、まっかなチューリップのはなのなかにあります。そこでは、アリやテントウムシなどのなかまたちがじゅうにあつまり、しょくじをたのしみます。キッチンはリサイクルそざいのステンレスでつくられ、しぜんエネルギーがもちいられ、しょくひんロスをへらすレシピのほんがならびます。りょうりには、じぶんでそだてたしゅんのやさい、たべられるはなやきのこをつかいます。このみらいのキッチンは、ちきゅうとにんげんとしぜんのちょうわのぼしょです。なかまとアイデアをわかちあいながら、しぜんをからだじゅうでかんじられるくうかんになっています。

